

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：日本近世地域史入門 ILAS Seminar: Introduction to Japanese Early Modern Regional History	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Letters Associate Professor, MIYAKE MASAHIRO		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	5 (5)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Tue.5
<b>Classroom</b>	Miyake Laboratory, 2nd floor, Faculty of Letters Exhibition Hall (Main Campus)			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	日本史 / 日本近世史 / 地域史 / 史料				

#### [Overview and purpose of the course]

この授業では、日本近世（概ね江戸時代に相当）における地域の歴史を調査・研究するための方法論を学ぶ。各自で特定の地域を選んで調査・研究し、成果を発表してもらうことになる。

日本近世史において、地域から考える視角は非常に重要である。日本近世は、全国各地で膨大な文書が書かれて蓄積された時代であり、現在まで、未発見のものも含めて大量の古文書が全国各地に伝来している。国家史や政治史といった中央の歴史からだけではなく、身近な地域の人々の有り様から歴史を考えることも大切である。地域の視点から、近世社会の特質とその歴史的展開を考え、全体像を見通す方法論を学び、楽しんでもらいたい。故郷の歴史を探究するもよし、全く縁のない地域を取り上げるのもまた、様々な魅力があるだろう。

#### [Course objectives]

- ・日本史学の基礎的な調査・研究の方法を学ぶ。
- ・地域の視角から歴史を考える方法論と意義を学ぶ。

#### [Course schedule and contents]

基本的に以下のプランに従って授業を進める。ただし、受講生の興味関心や調査・研究の進度に応じて、順序や内容を変更することもある。

- 第1回 授業の進め方の説明
- 第2～5回 地域の選定と参考文献・史料の確認
- 第6～10回 途中経過報告会
- 第11～14回 最終成果報告会
- 第15回 総括討論とフィードバック

授業は、全員に数回ずつ報告してもらいながら進める。報告に際しては十全な事前準備が必要となる。また、他者の報告を聞いて討論することになるので、積極的な発言が求められる。調査・研究成果は、レポートにまとめて提出してもらう。

ILASセミナー : 日本近世地域史入門(2)

**[Course requirements]**

次の要件を満たすこと。  
高等学校等で日本史Bを履修したこと  
日本近世史に強い関心があること

**[Evaluation methods and policy]**

調査・発表(40点)、討論への参加(10点)、期末レポート(50点)

**[Textbooks]**

Not used

**[References, etc.]**

(References, etc.)  
Introduced during class  
各自の研究テーマに合わせて適宜紹介する。

**[Study outside of class (preparation and review)]**

選択した地域・テーマにもとづいて調査・研究を進め、担当日に間に合うように授業で発表する準備をすること。

**[Other information (office hours, etc.)]**

授業を実施する場所(研究室)の収容力の関係から、受入人数は5人に限定する。  
初回の授業で授業の進め方を説明し、2回目の授業で担当地域を決めるので、必ず出席すること。